

血液・腫瘍内科

1. 概要

2017年度は5から7人のスタッフにて、1日平均約60から70人の外来と、同様に約40から50人の入院患者に対する診療を行った。

疾患の多くは血液悪性腫瘍であり、若年者から高齢者まで対象年齢は幅広い。血液悪性腫瘍は化学療法の効果が期待しやすいことが多く、高齢者であっても可能な範囲で積極的に化学療法を行っている。また、造血幹細胞移植も適応のある症例では行っており、本年度は自己末梢血幹細胞移植を11例に、同種造血幹細胞移植を12例（血縁者間5例、非血縁者間7例）に施行した。地域の中核病院として、ほぼ全ての血液疾患に対する治療がこの地域で行えるよう、体制を整えている。

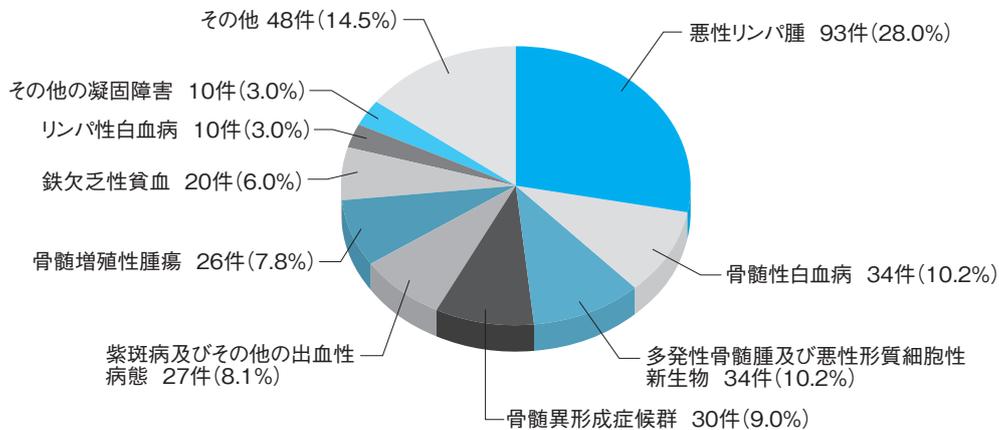
本年度の取り組みとして、日本骨髄バンク非血縁者間末梢血幹細胞採取の施設認定を取得した。これにて、非血縁者間の骨髄移植に加え末梢血幹細胞移植も可能となり、血縁者間移植や臍帯血移植等も含め、多様なドナーからの移植治療ができるようになった。さらに、ドナーや患者の負担を軽減し、移植医療が円滑に行えるよう、HCTC（造血細胞移植コーディネーター）の育成も進めた。また、昨年と同様に、血液診療の質を高めるため、他領域専門職種とのチーム医療を積極的に実践した。

（第一部長 杉浦 勇）

（文責 第二部長 倉橋 信悟）

2. 新規登録疾患

総数：332件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
悪性リンパ腫	大細胞型(びまん性)	42	C833
	末梢性T細胞リンパ腫	11	C844
骨髄性白血病	急性骨髄性白血病	25	C920,C924
	慢性骨髄性白血病	9	C921
多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	多発性骨髄腫	27	C900
	単クローン性異常免疫グロブリン血症	7	D472
骨髄異形成症候群	骨髄異形成症候群, 詳細不明	26	D469
紫斑病及びその他の出血性病態	特発性血小板減少性紫斑病	27	D693
骨髄増殖性腫瘍	本態性(出血性)血小板血症	13	D473
	真性赤血球増加症	12	D45
鉄欠乏性貧血	鉄欠乏性貧血, 詳細不明	20	D509
リンパ性白血病	急性リンパ芽球性白血病	6	C910,C915
	慢性リンパ球性白血病	4	C911
その他の凝固障害	その他の明示された凝固障害	6	D688

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	15,925人	年間外来新患者数	413人
年間入院患者数	17,673人	年間入院新患者数	657人

(2) 感染症

延べ総件数：221件

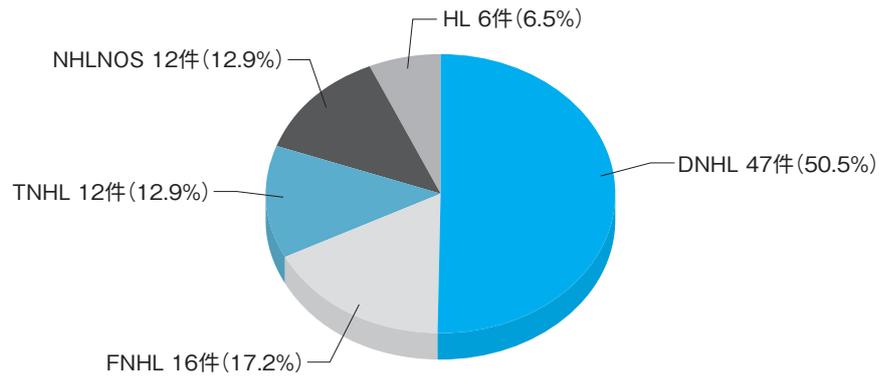
	疾患名	件数(件)		疾患名	件数(件)
1	敗血症	80	5	ヘルペス感染症	29
2	カンジダ症	41	6	ニューモシスチス症	9
3	真菌症	32	7	アスペルギルス症	13
4	サイトメガロウイルス病	17		計	221

(3) 造血幹細胞移植

種類		件数(件)	
自家移植		11	
同種移植	血縁者間	同胞	4(骨髄:1 末梢血:3)
		半合致	1
	非血縁者間	骨髄バンク	4
		臍帯血バンク	3

(4) 悪性リンパ腫の組織分類 (ICD-10 C81-85)

総数：93件



略語	疾患名
DNHL	びまん性非ホジキンリンパ腫
FNHL	ろ胞性 [結節性] 非ホジキンリンパ腫
TNHL	末梢性及び皮膚T細胞リンパ腫
NHLNOS	非ホジキンリンパ腫のその他及び詳細不明の型
HL	ホジキン病

学会発表（医局）

<血液・腫瘍内科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師 区分
1	Current and future JALSG study for Philadelphia-chromosome positive acute lymphoblastic leukemia	筆頭演者	Isamu Sugiura	JALSG 30周年記念シンポジウム	東京都	2017/6/17	
2	ABVd療法で寛解を得た治療抵抗性指状嵌入樹状細胞肉腫の1例	筆頭演者	梅村 晃史	第79回日本血液学会学術集会	東京都	2017/10/20	
3	当院における高齢者Ph陽性ALL患者の後方視的検討	筆頭演者	鈴木弘太郎	第79回日本血液学会学術集会	東京都	2017/10/21	

研究会発表（医局）

<血液・腫瘍内科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師 区分
1	当院における高齢者 Ph+ALLに対するPonatinib の使用経験	筆頭演者	小山 大輔	三河血液疾患診療ネッ トワーク	知立市	2017/5/26	
2	ループスアンチコアグラ ント・低プロトロンビン血症 症候群の1例	筆頭演者	小山 大輔	三河血液疾患診療ネッ トワーク	知立市	2017/9/29	
3	指状嵌入樹状細胞肉腫に対 する化学療法後に濾胞性リン パ腫を発症した1例	筆頭演者	梅村 晃史	第29回東海悪性リンパ 腫研究会	名古屋市	2017/10/7	

座長・司会（医局）

<血液・腫瘍内科>

No.	座長・司会	演題名	座長名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師区分
1	座長	一般演題 悪性リンパ腫の診断と治療に苦慮した症例	倉橋 信悟	第28回東海悪性リンパ腫研究会	名古屋市	2017/3/11	
2	司会	Bortezomib with lenalidomide and dexamethasone versus lenalidomide and dexamethasone alone in patients with newly diagnosed myeloma without intent for immediate autologous stem-cell transplant (SWOG S0777): a randomised, open-label, phase 3 trial	杉浦 勇	第22回 Nagoya Myeloma Working Group	名古屋市	2017/5/24	
3	司会	Lenalidomide, bortezomib, and dexamethasone combination therapy in patients with newly diagnosed multiple myeloma	杉浦 勇	第22回 Nagoya Myeloma Working Group	名古屋市	2017/5/24	
4	座長	The Role of Daratumumab for Multiple Myeloma	杉浦 勇	第19回東海骨髄腫フォーラム	名古屋市	2017/10/25	
5	座長	当院における再発難治多発性骨髄腫に対する elotuzumab の使用経験 当院における再発難治多発性骨髄腫の治療方針	杉浦 勇	Multiple Myeloma Expert Seminar in Nagoya	名古屋市	2017/7/25	
6	座長	The Role of New Agents in the Treatment for Multiple Myeloma	杉浦 勇	Meet The Expert Multiple Myeloma in Nagoya	名古屋市	2017/7/26	

講 演 (医局)

<血液・腫瘍内科>

No.	演 題 名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師区分
1	多発性骨髄腫の新たな治療戦略ー当院におけるカイプロリスの使用経験ー	杉浦 勇	静岡西部カイトロリス発売記念講演会	浜松市	2017/2/10	
2	成人Ph+ALLの移植適応	杉浦 勇	Ph+ALL Seminar in Nagoya	名古屋市	2017/3/17	
3	Ph+ALLの新たな治療戦略	杉浦 勇	Ph+ALL Seminar in Shizuoka	静岡市	2017/4/12	
4	Ph+ALLに対するTKI導入同種幹細胞移植の確立と今後の課題	杉浦 勇	血液疾患 Update in Nagoya	名古屋市	2017/4/14	
5	当院における臨床研究支援体制	杉浦 勇	第59回豊橋がん診療フォーラム	豊橋市	2017/5/18	
6	Carfilzomib, Lenalidomide, and Dexamethasone KRd療法について	杉浦 勇	第22回 Nagoya Myeloma Working Group	名古屋市	2017/5/24	
7	多発性骨髄腫の最新治療戦略	杉浦 勇	名古屋南骨髄腫学術講演会	名古屋市	2017/7/12	
8	Ph+ALLの治療戦略	杉浦 勇	BMS Hematological Expert Seminar	東京都	2017/11/2	
9	多発性骨髄腫の最近の治療	杉浦 勇	愛知県病院薬剤師会東三河支部学術講演会	豊橋市	2017/12/21	

論文・著書 (医局)

<血液・腫瘍内科>

No.	題 名	区分	氏名	雑 誌 名	医師 区分
1	III-10.Ph染色体陽性急性リンパ性白血病	筆頭著者	杉浦 勇	血液疾患最新の治療2017-2019. 2017, p.156-p.159.	
2	Impact of Synchronous Multiple Primary Malignant Tumors on Newly Diagnosed Hematological Malignancies.	筆頭著者	Satoshi Nishiwaki	Clin Lymphoma Myeloma Leuk. 2017; 17: e79-e85.	
3	Effective chemomobilization with etoposide and cytarabine (EC regimen) in lymphoma patients: a single-center,retrospective,observational study.	筆頭著者	Daisuke Koyama	Jpn. J. Clin. Oncol. 2017; 47: 820-825.	
4	Clinical efficacy of fecal occult blood test and colonoscopy for dasatinib-induced hemorrhagic colitis in CML patients.	筆頭著者	Satoshi Nishiwaki	Blood. 2017; 129: 126-128.	
5	Successful treatment with allogeneic stem cell transplantation followed by DLI and TKIs for e6a2 BCR-ABL-positive acute myeloid leukaemia	筆頭著者	Yasuhiko Harada	Medicine (Baltimore) . 2017; 96: e9160.	
6	Efficacy and safety of autologous peripheral blood stem cell transplantation for Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia	共同著者	Isamu Sugiura	Medicine (Baltimore) . 2017; 96: e9568.	
7	Phase II study of imatinib-based chemotherapy for newly diagnosed BCR-ABL-positive acute lymphoblastic leukemia	共同著者	Isamu Sugiura	Am J Hematol. 2017, 367-374.	
8	Carfilzomib, lenalidomide and dexamethasone in patients with heavily pretreated multiple myeloma	共同著者	Isamu Sugiura	Cancer Sci. 2017; 108: 461-468.	